

ホーム > サービスガイド > 外為オプション(バイナリーオプション) > 取引ルール

口座開設

サービスガイド

- ▶ 株式
- ▶ 先物・オプション
- ▶ FXネオ
- ▶ 外為オプション
- ▶ 外為オプション取引の特長
- ▶ **取引ルール**
- ▶ 外為オプションの予備知識
- ▶ 留意事項
- ▶ ツール
- ▶ デモ取引
- ▶ 信託保全
- ▶ お取引の流れ
- ▶ 経済カレンダー
- ▶ クリック365
- ▶ CFD
- ▶ 外国債券
- ▶ eワラント
- ▶ キャンペーン情報
- ▶ 手数料・費用一覧
- ▶ サービス時間一覧
- ▶ 入出金・振替方法
- ▶ ご利用環境
- ▶ 取引画面のご案内
- ▶ 取引規程・約款

新・外為オプション まずは、**デモ取引**から始めよう!

よくあるご質問

外為オプション 取引ルール

特徴	取引ルール	予備知識	留意事項	外為オプション取引IQ&A
----	--------------	------	------	---------------

外為オプション取引ルールをご案内します。取引に関する情報を記載しておりますので、各項目をお読みの上、お取引を行ってください。ご不明な点などございましたらお気軽にGMOクリック証券コールセンターまでお問い合わせください。

外為オプション取引の概要

外為オプション取引は、満期時点において為替レートが、一定の価格以上(未満)となるか、または一定の価格帯に取まるかを予測するオプション取引です。オプションの新規購入だけでなく、売却や再購入が可能となれば、満期前に予測通りとなった場合は、ペイアウト(1,000円固定)を受け取ることができます。

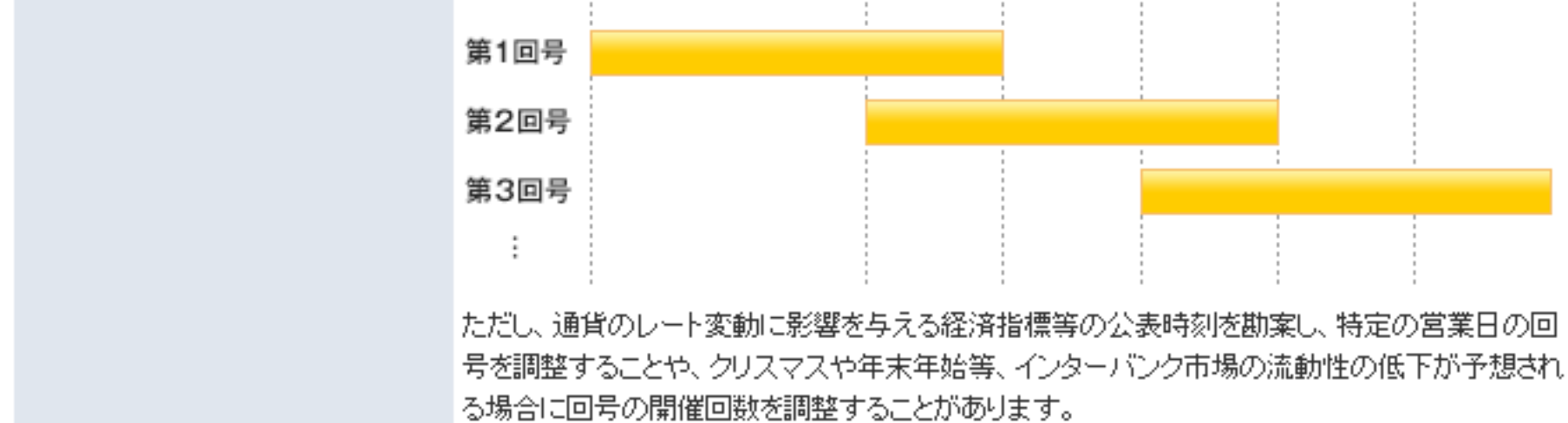
取扱銘柄

通貨ペア	単位	呼値	取引単位
米ドル/円	(USD/JPY)		
ユーロ/円	(EUR/JPY)		
ポンド/円	(GBP/JPY)		
ユーロ/米ドル	(EUR/USD)		

お取引に関する条件

取引手数料	0円
口座開設・維持費用	0円
オプションタイプ	・ラダーオプション ・レンジインオプション ・レンジアウトオプション ※ いずれもヨーロッパタイプオプションとなります。
取引方法	新規取引は購入、決済取引は売却 ※ 新規取引で売却から開始することや、決済取引で購入することはありません。 ※ 注文タイプは成行のみです。
取引経路	PC会員ページ、携帯電話(NTTドコモ/SoftBank/au)等のインターネット接続端末を介し、当社社員ページよりインターネット経由で取引することができます。 電話等、オペレーターによる取引の受付は、システム障害を含めて一切行いませんのでご了承ください。

取引時間	月～金曜日の午前8:00～翌午前5:00 各回号の開催時間と以下となっております(全通貨ペア・ラダー・レンジ型共通)
第1回号	8:00～11:00
第2回号	10:00～13:00
第3回号	12:00～15:00
第4回号	14:00～17:00
第5回号	16:00～19:00
第6回号	18:00～21:00
第7回号	20:00～23:00
第8回号	22:00～翌1:00
第9回号	0:00～翌3:00
第10回号	翌2:00～翌5:00



ただし、通貨のレート変動に影響を与える経済指標等の公表時刻を勘案し、特定の営業日の回号を調整することや、クリスマスや年末年始等、インターネット市場の流動性の低下が予想される場合に回号の開催回数を調整することがあります。

各回号の取引時間	※ 各回号の満期時刻2分前以降は、新規・決済ともに注文受付を停止いたします。 例) 8:00～11:00の回号の場合 8:00 10:58 11:00 注文受付時間 注文停止時間
----------	--

必要証拠金の有無 外為オプション取引では新規取引は購入のみが可能となっております。取引による最大損失額は購入金額と同額のため、証拠金は必要ではありません。

ロスカット 外為オプション取引では新規取引は購入のみが可能となっております。取引による最大損失額は購入金額と同額のため、ロスカットはありません。

上限	新規購入	1日あたり5,000枚、1注文あたり500枚です。 ※ 売却口は上限はありません。
	同時保有	お客様にとって適正なリスク量の範囲内となるよう、お客様の顧客属性に応じてグループ分けを行い、グループごとにご保有上限枚数を設定しております。お客様ご自身の保有上限枚数は、トレード画面にて確認いただけます。
	損失	当社では、定期的にお客様の外為オプション取引における損失状況のモニタリングを実施しており、その損失額が適度にならないよう、お客様の取引を規制させていただく場合があります。バイナリーオプションは一回取引あたりの損失が限定的であるものの、過度の投機的な取引を行うと、累計の損失が大きくなる可能性もあります。お客様自身の資産などを踏まえ、節度ある取引を心がけていただくようお願いいたします。

ペイアウト金額 1枚につき1,000円(固定)

権利行使価格の決定方法	価格	権利行使価格は基準となる権利行使価格から上下対称に設定されます。基準となる権利行使価格は各回号の注文受付が開始される1分前の高替レートを、対円通貨ペアであれば小数第二位、対ドル通貨ペアであれば小数第四位を四捨五入することにより決定されます。また、何らかの理由により、注文受付予定時刻に権利行使価格を設定できなかった場合、その後権利行使価格が設定された後、当該回号での注文受付を開始します。なお、権利行使価格が設定されないまま、当該回号の残り時間が2時間未満となった場合、当該回号は中止となります。
	価格・本数	各権利行使価格の価格・本数は、中長期的な為替相場の変動から、回号開始直後から極端に高いペイアウト倍率とならないよう設定しておりますが、重要経済指標の発表をまたぐ回号や、インターネット市場の流動性が低下する回号等では他の回号と異なる場合があります。 ※ 重要経済指標の発表をまたぐ回号に際しては、原資産のボラティリティが高くなる可能性があり、お客様・当社双方のリスク管理が困難となること等を総合的に判断し、権利行使価格の価格・本数を設定します。

権利行使価格の追加 外為オプション取引では、回号の最中に権利行使価格が追加されることはありません。

提示原資産レート 外為オプション取引の提示原資産レートは、当社FXネオ取引で提示しているレートと同様の方法で生成した、各通貨ペアのBidレートとAskレートの間値(Midレート)を採用しています。この外為オプション取引向け原資産レートは、レート生成のタイミング等が異なることを原因に、FXネオのレートとの間に差異が発生する場合があります。なお、当社FXネオ取引で提示しているレートは、インターネット市場において取引されている最新のレートを参照し、当社が対お客様向け取引レートとして算出したものです。

取引レート	2wayプライス	注文受付時間中は、購入レートとその時点における売却レートを提示しております。
	決定方法	取引レートは、オプション取引の理論モデルのひとつである「ブラック・ショールズモデル」に基づいて算出し、そのリスクプレミアムをスプレッドとして加味した値となります。同モデルでは、原資産価格、権利行使価格、ボラティリティ(レート変動率)、権利行使期間(取引時間)、短期金利が変数となっており、これらの変数(値)により取引レートも変動いたします。 ※ 店頭バイナリーオプションのレートは、雑談の要素に基づく計算値であり、基本的には相対取引でレートは決定されます。そのため、同一条件の店頭バイナリーオプションであっても、その取引レートが取換金融商品取引業者により異なる場合があります。 ※ 重要経済指標の発表前後やインターネット市場の流動性低下時、各回号の満期前はスプレッドが広がる傾向があります。

判定レート 満期時間前に最後に更新された原資産価格(FXネオレート)の間値(Midレート)のことになります。

判定ならびに権利行使	判定処理	満期時に保有していたオプションに対し、上記の判定価格に基づいて自動的に権利行使・権利消滅が判定されます。権利行使された場合、各回号の満期前に、ペイアウト金額が外為オプション取引口座に入金されます。 ①ラダーバイナリーコールオプション 回号終了時点の判定価格が権利行使価格以上の水準となった場合(判定価格≧権利行使価格の場合)にのみ、ペイアウトの入金処理を行います。権利行使価格未満の水準となった場合はペイアウト額を受け取ることができません。 ②ラダーバイナリープットオプション 回号終了時点の判定価格が権利行使価格未満の水準となった場合(判定価格<権利行使価格の場合)にのみ、ペイアウトの入金処理を行います。権利行使価格以上の水準となった場合はペイアウト額を受け取ることができません。 ③レンジインオプション(レンジバイナリーコールオプション) 回号終了時点の判定価格が2つの権利行使価格に挟まれるレンジの内側(下限価格以上かつ上限価格未満)となった場合(下限価格≦判定価格<上限価格の場合)にのみ、ペイアウトの入金処理を行います。レンジの外側(下限価格未満または上限価格以上)となった場合はペイアウト額を受け取ることができません。 ④レンジアウトオプション(レンジバイナリープットオプション) 回号終了時点の判定価格が2つの権利行使価格に挟まれるレンジの外側(下限価格未満または上限価格以上)となった場合(判定価格<下限価格 または 上限価格≦判定価格の場合)にのみ、ペイアウトの入金処理を行います。レンジの内側(下限価格以上かつ上限価格未満)となった場合はペイアウト額を受け取ることができません。 ※ 判定処理が終了し、その損益がお客様の余力として反映されるまでには、数分間、いただきますので、予めご了承下さい。
	利用する判定レートの提供者	上記の原資産価格(FXネオレート)ならびに判定レートは当社が生成・提供するものとなります。また、何らかの理由により、回号終了時に当社がFXネオのレートを取得できなかった場合(例)、Bloomberg社が同時点で配信するレート(Bid レートとAskレートの間値)を利用し判定レートとして使用します。

両建て取引 両建て取引は経済合理性を欠く取引であり、お客様保護の観点から両建て取引に該当する注文はお受けできません。以下が両建て取引となるパターンとなります。

- ・ラダーオプション
同一の権利行使価格において円高/円安(対ドル通貨ペアの場合はドル高/ドル安)のオプションを両方購入する。
(別の権利行使価格、別通貨ペアや別回号の両建て取引が可能です。)
- ・レンジオプション
同一の権利行使価格帯においてレンジイン/レンジアウトのオプションを両方購入する。(別の権利行使価格帯、別通貨ペアや別回号の両建て取引が可能です。)

資金指替 外為オプション取引口座への資金移動はFXネオ取引口座からの指替(即時に余力反映)が必要です。
・メンテナンス時間の指替指示は受け付けできません。
・指替指示はインターネット上からのみ受付いたします。(E-Mail, FAX, 電話でのお申込みは受け付けできません。)

初回最低指替額 下限なし

取引停止事由 インターバンク市場の流動性低下、または為替レートの急変等其他技術的な理由により、レート提示、ヘッジ取引等が困難であると当社が判断した場合は、購入、売却を中止する場合があります。その場合、お客様の保有していたオプションは満期時点において判定レートを基づいて決済いたします。

その他	一時中断	外為オプション取引では、取引時間中に受付中止(一時中断)となることがあります。当社では外為オプション取引に際し、回号通貨ペアごとに販売上限額を設けており、販売上限金額に達すると一時中断となります。販売上限につきましては、お客様に円高/円安取引を提供することを念頭に、適度な取引によるシステムへの負荷を監み設定させていただきます。詳しくはこちらでご確認ください。
	損益の開示	当社では、お客様との間で行われた全取引の損益結果をまとめ、こちらで情報を公開しております。

更新履歴

2018年11月16日	外為オプション取引ルール (2018/11/15取引まで)	一般社団法人金融先物取引業協会の自主規制ルール対応のための変更
2018年8月1日	外為オプション取引ルール (2018/7/31取引まで)	・提示レート ・倍率・レンジ ・取引に代金の授受 ・ロスカット
2018年4月22日	外為オプション取引ルール (2018/4/19取引まで)	・ペイアウト倍率・レンジ
2018年1月21日	外為オプション取引ルール (2018/1/18取引まで)	・購入金額
2012年9月28日	外為オプション取引ルール (2012/9/27取引まで)	・リスク説明の記載
2011年11月28日	外為オプション取引ルール (2011/11/25取引まで)	・取扱銘柄 ・提示レート
2011年11月1日	外為オプション取引ルール (2011/11/12取引まで)	・両建て取引
2011年9月2日	外為オプション取引ルール (2011/9/2取引まで)	・注意事項
2011年8月17日	外為オプション取引ルール (2011/8/26取引まで)	・外為オプション取引の概要 ・取扱銘柄 ・購入区分 ・取引時間 ・購入受付時間
2011年7月22日	外為オプション取引ルール (2011/7/22取引まで)	・取引時間 ・購入受付時間
2011年6月27日	外為オプション取引ルール (2011/6/24取引まで)	・注意事項
2011年6月20日	外為オプション取引ルール (2011/6/17取引まで)	・取引時間 ・購入受付時間
2011年5月2日	外為オプション取引ルール (2011/4/29取引まで)	・取引時間 ・購入受付時間

1 ID 外為オプション取引はGMOクリック証券から。すべてのサービスがひとつのID・パスワードでご利用いただけます。 **今すぐ口座開設**

外為オプションのデモ取引もご利用いただけます。まずは取引環境をお試ください。